

福岡県ゆかりのメダリストの方々が県議会を訪問されました

東京 2020 オリンピック、パラリンピック競技大会



素根 輝 選手



オリンピック柔道女子 78kg 超級：金メダル
オリンピック柔道男女混合団体：銀メダル
久留米市出身 久留米市立南筑高等学校卒

男女混合団体は、これまで個人戦のみだったオリンピックの柔道に東京 2020大会から新たに導入されることになった団体戦です。男子3、女子3の計6選手で構成。階級は男子が73キロ以下、90キロ以下、90キロ超、女子は57キロ以下、70キロ以下、70キロ超となり、同じ階級の選手同士が戦います。



梶原 大暉 選手



パラリンピックバドミントン男子シングルス WH2：金メダル
パラリンピックバドミントン男子ダブルス WH1-2：銅メダル
福岡市出身 福岡市立福翔高等学校卒

車いすカテゴリーには、下肢に障がいがあるため立ってプレーすることができない選手が「出場します。障がいの程度が重い「WH1」と軽い「WH2」の2つのクラスがあります。



道下 美里 選手



パラリンピック陸上競技(女子マラソン T12)：金メダル
太宰府市在住

視覚障がいの程度により、下記の3つのクラスに分かれています。
T11：伴走者が必須 視力 0.0025 未満
T12：伴走者と走るか単独で走るか選択できる。視力 0.0025 から 0.032 まで、または視野直径 10 度未満
T13：単独で走る。視力 0.04 以上 0.1 まで、または視野直径 10 度以上 40 度未満
※東京 2020大会では T12 クラスが実施され、障がいの程度が T12 より重い T11 の選手も参加可能。



林 咲希 選手

オリンピックバスケットボール女子：銀メダル
糸島市出身 精華女子高等学校卒



瀬戸 勇次郎 選手

パラリンピック柔道男子 66kg 級：銅メダル
糸島市出身 県立修猷館高等学校卒
福岡教育大学在学中



浦田 理恵 選手

パラリンピックゴールボール女子：銅メダル
福岡市在住 シーズアスリート(福岡市)所属

素根選手は、久留米市立南筑高等学校柔道部時代から大きな大会での優勝報告などでこれまでも度々県議会を訪問して下さいました。



世界柔道選手権東京大会
女子 78kg 超級 優勝時
令和元年 10月31日



アジア競技大会
柔道女子 78kg 超級 優勝時
平成 30年 9月11日



全日本選抜柔道体重別選手権大会
女子 78kg 超級 優勝(2連覇)時
平成 30年 4月12日



全日本選抜柔道体重別選手権大会
女子 78kg 超級 優勝時
平成 29年 4月6日

スポーツ立県へ大きな弾み

本大会には、本県ゆかりの 54 名の選手が会場へ、オリンピックでは 10 名、パラリンピックでは 6 名の方々がメダル獲得の快挙を成し遂げられました。

福岡県では、県民のスポーツ活動を活性化することにより地域に活力をもたらし、スポーツの力により活性化した地域がさらにスポーツを支援できる力を発揮する、というような好循環が県内各地で生み出され、スポーツの力で県民生活をより豊かに、より元気にする「スポーツ立県福岡」の実現を目指しています。大規模スポーツ大会としては、本年 10 月に「2021 世界体操・新体操選手権北九州大会」が開催されましたが、来年 5 月には「第 19 回 FINA 世界水泳選手権 2022 福岡大会」が、そして再来年の 10 月には「ツール・ド・九州 2023」の開催が予定されています。

定例会の概要

令和三年九月

9月定例会は、9月10日に招集され、会期中に設置された決算特別委員会を含め、10月14日まで35日間の会期中に審議が行われました。開会日の冒頭には、議長から、8月11日からの大雨により犠牲になられた方々へ謹んで哀悼の意を表するとともに、被害に遭われた皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

今定例会には、新型コロナウイルス感染症対策として、下半期における病床・宿泊療養施設の確保や県民へのワクチン接種の加速化などへの取り組み、緊急事態宣言の延長を受けての飲食店に対する時短協力金等のほか、安全・安心の確保、地域活性化等に必要経費の令和3年度補正予算議案2件、条例議案10件、専決処分したものの1件について報告し承認を求め、議案3件、工事請負契約の締結に関する議案9件、経費負担に関する議案6件、財産の取得に関する議案1件、計31件の議案が開会日に知事より提出されました。

さらに、8月の大雨災害の復旧・復興対策と緊急事態措置解除後の新型コロナウイルス感染症対策などに必要経費の令和3年度補正予算議案3件、人事に関する議案1件、令和2年度福岡県一般会計決算など決算関係議案20件、計24件の議案が追加提出されました。

審議に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策、大雨災害対策、財政運営、商工問題、教育問題など県政全般にわたり活発な論議が交わられました。審議の結果、決算関係議案を除く35件について、いずれも原案のとおり可決、承認または同意されました。また、決算関係議案20件についても、決算特別委員会において熱心な議論が行われ、認定、または原案可決及び認定されました(6面に決算特別委員会の審査内容を掲載しております)。